

## 総務くらし建設委員会会議録

開 会 日	令和元年7月11日（木）午後1時00分
閉 会 日	令和元年7月11日（木）午後2時09分
場 所	長久手市役所本庁舎 2階 委員会室
出席委員	委員長 さとうゆみ 副委員長 山田けんたろう 委 員 石じまきよし 伊藤祐司 川合保生 ささせ順子 佐野尚人 田崎あきひさ 山田かずひこ
欠席委員	な し
欠 員	な し
会議事件 のため出 席した者 の職氏名	くらし文化部長 浦川 正 たつせがある課長 磯村和慶 主幹 布川一重 交流推進係長 中川暁敬 <div style="text-align: right;">計4人</div>
職務のため 出席した者 の職氏名	議長 加藤和男 議会事務局長 水野敬久 書記 浅井良和
会 議 録	別紙のとおり



別紙

委員長 開会宣言  
議長 あいさつ

## 所管事務調査

### リニモテラス整備事業について

委員長 担当課の説明は令和元年6月24日実施の総務くらし建設委員会で実施済みである。質疑、意見があれば発言を許可する。

田崎委員 リニモテラス運営協議会規約で管理運営に関する方針を市に提言するとしているが、どこまで提言することができるのか。また、協議会が指定管理者になることはあるのか。

たつせがある課長

管理運営を市に提案する。いきなり施設を管理するのは難しいため、しばらくは運営に携われないか可能性を探っている。

田崎委員 指定管理者制度でプログラムもパッケージしていくのか。

主幹 基本的には指定管理を考えている。通常であれば指定管理者選定委員会になるが、市民の意見を取り入れ公共施設でありながら柔軟性をもたせていきたい。

田崎委員 指定管理者の選定は市か運営協議会による提言どちらなのか。

主幹 最終的には市である。

田崎委員 協議会のメンバーが指定管理者になることはあるのか。また、人材発掘支援事業で指定管理を担える人材は発掘できているのか。

主幹 協議会のメンバーが指定管理を担う資格が全くないわけではない。ただ、協議会のメンバーは専門家ではないため、施設管理と事業運営を分ける方法もあると思う。例えば文化の家は直営だが市民が関われるような仕組みになっており、類似施設を研究していく。協議会は4つのキーワードに分類される団体のメンバーであるため、直接的に関わるプレイヤーである。それ以外にもいろんな想いの方が集まってくる。直接関わるプレイヤー以外にも、サポートする方も必要であるためそれぞれの人材発掘を並行して行っている。

田崎委員 人材発掘にいくらかかっているのか。

委員長 過去に担当課が出した資料では平成28年度は561万6,000円、平成29年度は525万9,600円、平成30年度は328万3,200円に加えて寺島千恵さんに89万7,000円である。

田崎委員 これだけ支出しているのに準備が整っていないのはなぜか。

主幹 平成28年度は設計にかかる前提条件や市民の関わりをどうするか、平成29年度は「100プロジェクト」を実施した。平成30年度はリニモテラス運営協議会も組織され、市民ボランティアの育成も実施した。人材発掘のみを実施したわけではなく、いろんな側面からアプローチ

したなかで、プレイヤーだけでなくサポーターも必要であることが分かった。その成果は報告書で残っている。できるだけ過去に実施した調査、試験的な試みを踏まえて管理運営を検討している。

田崎委員 その指定管理を市民の集合体にまかせて大丈夫なのか。市民を巻き込む場をコーディネートできる事業体でないと難しいと思う。指定管理にふさわしいプロが混じり市民と一緒に誘導して活性化させていく手法だと思っているが違うか。

主幹 公的空間を市民、企業が管理運営している事例を運営協議会には情報提供し、公共施設の管理にふさわしい方向性を検討している。専門家のアドバイスも受けている。

ささせ委員 リリモテラスを稼ぐ場所にするために、市民に対して指南するようなことはするのか。

主幹 リリモテラスはエリア概念であり、公益施設だけで稼ぐわけではなく、ノウハウのある商業施設と連携すればシナジーが生まれる。市が全部お膳立てするのではなく、利用者にとっていい施設か市民に検討していただく。

山田（か）委員 同じ人ばかりがカフェを利用して、入りづらくなることがないようにしてほしい。また役所機能も持たせたらどうか。

主幹 新しい人へバトタッチできるように組織を新陳代謝していきたい。また公設民営だが、駅前の利点を活かして市民に対するサービスは考えていかななくてはならない。市のコンシェルジュ機能をもたせたい。

川合委員 協議会が市民を巻き込んで意見を出しても市長に否定されると言っていた。それならば市長が決めればいいのか。

たつせがある課長

協議会が多くの市民から意見を聞き9、10月に成果として設計案を皆さんに提示できるようにしたい。

川合委員 市民の意見をまとめて提案したのに、市長は木造にしろということだった。まずは木造の是非を市民に問うべきではなかったのか。

主幹 木造や市民と一緒に考えていくことは市政全般の方針であり、行政の最終的な責任者として市長が判断する。行政が敷いたルールの上を走りたくないとならば新たに自分たちで行動しようとする動きも尊重しながら最終的に議会に対して説明責任を果たすべきと考えている。

佐野委員 これまでの委託の実績や市民の意見が積み上げられて反映されてこなければならぬのに、改めて話を聞くと最初に戻っている。これまで発生した委託費や市民の意見はどうやって盛り込まれるのか。これまでの経過報告が必要ではないか。

主幹 リリモテラスは既に一部稼働しており、多くの方が集まっている。まちの新しいシンボルコアとして市民の交流の場にしていきたい。過去に関わっていただいた方にも説明し、最終的にはこの施設ができて

- よかったと言われるようにしたい。
- さとう委員 市民のワークショップを経てできあがったものであり、行政の敷いたレールではない。設計にはいくら使ったのか。
- 主幹 昨年の基本設計業務委託は702万円である。
- 田崎委員 平成31年4月に協議会のメンバーがごっそり入れ替わり、輪が広がるどころか洗練、淘汰されてきているとのことだが、人材発掘できているのか。
- 主幹 去年はボランティアで会議等に出席していただいた。今年度は293万7,000円の負担金を協議会に支出することになったので公的な説明責任が伴うようになった。負担金を支出する以上は単なる任意団体では困るため、規約の見直しも行った。これまで関わってきた市民の方々もイベントを実施する中で間接的ではあるが関わっており、淘汰されて数が減ってきたわけではない。
- 田崎委員 東畑建築事務所が出した仮プランは木造ではなかったのか。議員は木造に変わったことを知らない。仮プランを受けてから白紙になるまでの物語を委員会として把握したうえで議論したいがどうか。
- 主幹 東畑建築事務所がプロポーザルの経過を踏まえて出した仮プランは木造ではない。
- 田崎委員 プロポーザルで木造ではない提案を採用したにも関わらず、だれが改めて木造にする決定をしたのか。また、木造に変更する際に新たな支出は発生しているのか。
- 主幹 市の方針や国は国産材を使う方針があり、リニモテラスだけを木造にするわけではない。木造に変更してから新たな支出は発生していない。
- 田崎委員 プロポーザルで木造を提案した業者はなかったのか。
- 主幹 他に提案された案を調べる。
- 田崎委員 プロポーザルの仕様書は木造ではなく、プロポーザルで採用された提案も木造ではなかったにも関わらず木造に変更したのはなぜか。
- 主幹 施設を木造にする流れの中で、市が依頼した。
- 田崎委員 仕様書に木造と明記していなかったのか。
- 主幹 確認して後日回答する。
- さとう委員 中央図書館運営協議会や文化の家運営協議会は市の附属機関だが、リニモテラス運営協議会はどのような位置づけか。
- 主幹 市が委嘱した附属機関ではない。市が公共施設を作る段階でかかわってくれる団体があるという状況であるため委嘱や補助金ではなく負担金としている。
- さとう委員 古戦場公園とリニモテラスを一体でパークマネジメントする考えはあるか。
- くらし文化部長 研究課題とさせていただきたい。
- 伊藤（祐）委員 これまでの変遷を時系列で説明していただきたい。

委員長 第5次総合計画からリニモテラス事業に関する予算の執行状況と  
何を実施したのか概要を整理して説明していただきたい。  
主幹 整理して説明する。

委員長 閉会宣言

午後2時09分終了

以上、要点筆記は会議内容と相違ないので署名する。

令和元年7月11日

総務くらし建設委員会委員長 さとうゆみ